

引用文献の書き方 (SIST 02)

レポートなどを書く際に参考にした文献やウェブサイトは、引用したことがわかるように本文中に明示する。すなわち、自分の意見と他者の意見や事実は区別して書く。また、読者が原文を参照できるように文章の末尾に「参考文献」リストを掲載する。


引用文献の書き方には、さまざまなスタイルがある (APA, CMS, MLA, …)。ここではウェブで参照できる SIST 02 の書き方を紹介する。

1. SIST 02

- ・ SIST 02 : 科学技術情報流通技術基準 参考文献の書き方
http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm
- ・ 論文, 図書, ウェブサイトなど, 文献の種類によって書き方が異なる。

2. CiNii Articles の論文情報を参考文献リストに記載する

< CiNii Articles の情報 >

 **早期英語教育における仮説形成推論の役割** ← 論文名
 濱本 秀樹 ← 著者名
 文学・芸術・文化 20(2), 1-32, 2009-03 ← 誌名・巻(号)・ページ・出版年月
 機関リポジトリ ← 論文へのリンク (※リンクがない論文もある)

< SIST 02 形式 >

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページーおわりのページ, 入手先 (URL), (入手日付).

濱本秀樹. 早期英語教育における仮説形成推論の役割. 文学・芸術・文化. 2009, vol. 20, no. 2, p. 1-32. <http://id.nii.ac.jp/1391/00007846/>, (accessed 2021-05-26).

- ・ 英数字は半角で記述する。
- ・ ピリオド, カンマの後は半角スペースをあける。
- ・ 入手先 (URL) は CiNii Articles の URL ではなく, 論文の URL を記述する。
- ・ URL の他にパーマリンクである URI や DOI (デジタルオブジェクト識別子) が付与されている場合は, そちらを記述する (p.3~4 の画像参照)。
 - ✓ URL は機関名の変更等によって変化しアクセスできなくなる可能性がある。
 - ✓ URI や DOI などのパーマリンクは永続的に変更されない。

<機関リポジトリ>

大学や学術機関が運営する論文などの公開用サーバ。サーチエンジンや CiNii Articles のリンクからアクセスして論文などを無料でダウンロードできる (=オープンアクセス)。

新着情報 / お知らせ

(お知らせ)
2016年4月1日より近畿大学学術情報リポジトリがリニューアルしました。

博士学位論文全文公開の義務化について
博士学位論文のインターネット公表について [Q&A]
2013年度以降、博士学位論文のインターネット公表が義務化されました。

WEKO

トップ ランキング

検索

詳細検索 ●全文検索 ○キーワード検索

Language
日本語

インデックスツリー
public

インデックス
public ▶ 研究紀要 ▶ 文学・芸術・文化 : 文芸学部論集 ▶ 20(2) 2009
Permalink : <http://id.nii.ac.jp/1391/00007846/>

早期英語教育における仮説形成推論の役割

File / Name
AN1018193X-20090325-0001.pdf
AN1018193X-20090325-0001.pdf (1.06MB) [99 downloads]

OAI-PMH BibTeX OWL SWRC WEKO EXPORT PRINT

ここから論文をダウンロードできる
クリック後に表示される URL は変更される可能性がある

パーマリンク (引用の最後に書く)

3. J-STAGE の論文情報を参考文献リストに記載する

<J-STAGE>

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォーム。無料のジャーナルに掲載された論文はダウンロード可能 (オープンアクセス)。有料のジャーナルであっても、一定期間経過後に無料でダウンロード可能になる論文もある。また、文教大学が契約しているジャーナルは、学内または学外から SSL-VPN 経由でアクセスすれば無料でダウンロード可能。

J-STAGE 資料を探す J-STAGEについて サポート&ニュース

ストレス科学研究 ← 誌名

資料トップ 早期公開 巻号一覧 この資料について

J-STAGEトップ / ストレス科学研究 / 25 巻 (2010) / 書誌

原著

大学生の就職活動ストレスおよび精神的健康とソーシャルスキルとの関連性の検討 ← 論文名

北見 由奈, 森 和代 ← 著者名

著者情報

キーワード: 就職活動, ストレス, 精神的健康, ソーシャルスキル, 大学生

ジャーナル フリー

2010 年 25 巻 p. 37-45 ← 出版年・巻 (号なし)・ページ

DOI <https://doi.org/10.5058/stresskagakukenkyu.25.37> ← DOI

< SIST 02 形式 >

北見由奈, 森和代. 大学生の就職活動ストレスおよび精神的健康とソーシャルスキルとの関連性の検討. ストレス科学研究. 2010, vol. 25, p. 37-35.

<https://doi.org/10.5058/stresskagakukenkyu.25.37>, (accessed 2021-05-26).

4. 本文に引用箇所を明記する

本文に引用箇所を示す場合, 3通りの書き方がある。いずれの場合も必ず引用箇所に上付き数字⁽¹⁾などを付け, 「参考文献」リストに SIST 02 形式で文献の情報を記す。その際, 文献番号は上付き数字と一致させる。

引用文献が多い場合は, Word の「参考資料」や「文末脚注」機能を使うと便利。

<https://support.office.com/ja-jp/article/文献目録、引用文献、参考資料を作成する-17686589-4824-4940-9c69-342c289fa2a5>

- (1) 直接引用：原文通りに書き, “”など引用符で囲む。
- (2) 間接引用：原文を自分の言葉でまとめ直す。
- (3) 長い引用：原文通りに書き, 段下げをして自分の文章と区別する。

次ページに 3通りの書き方の例を示す。

<例> ※ここでは引用部分を青字で示したが、実際には色を変えない。

早期英語教育の是非についてはさまざまな議論がある。本レポートは、「早期英語教育は小学校低学年を対象とした絵本の読み聞かせについては賛成である」という立場から、その理由を述べる。

早期英語教育の難しさは、児童に英語への関心を持たせることや、単語を覚えるといった労力、モチベーションの維持にあると考えられる。しかし、絵本の読み聞かせという手段を用いれば、これらの問題をクリアできるのではないだろうか。たとえば松本は、「英語絵本は様々な年齢の子どもたちに合うものがあり、(略)内容を吟味し教授法を工夫しさえすれば、どんな集団規模にも適合する格好の教材である¹⁾」と述べている。つまり、児童の興味をひく多様な作品があると考えられる。また川村は、物語を教材として使うことにより、子供達になじみのある世界に関連づけながら言葉の意味を教えることもできるため、英語学習において読み聞かせは有効な学習手段であると指摘している²⁾。従って、教科書や単語帳による暗記などの手段を用いることなく、身の回りの単語を習得することも可能であると考えられる。

(1)直接引用

(2)間接引用

一方、中学生を対象とした文部科学省の調査³⁾によれば、小学校高学年の英語学習は、

抽象的な思考力が高まる段階であるにも関わらず、外国語活動の性質上、体系的な学習は行わないため、児童が学習内容に物足りなさを感じている状況が見られるとともに、中学校1年生の8割以上が「英語の単語・文を書くこと」をしておきたかったと回答している

(3)長文引用

ことが明らかにされている。このため高学年の児童については、絵本の読み聞かせよりも英語を読み、書く学習を中心にした方が有効であると考えられる。

このように、絵本の読み聞かせは小学校低学年の児童に関心を持たせることができるとともに、英語教育に一定の効果があると考えられる。以上の理由から、絵本の読み聞かせによる早期英語教育に賛成である。

【参考文献】

- 1) 松本由美. 初期英語教育における絵本の有効活用：児童の自発的反応を引出す「読み聞かせ」の試み. 玉川大学リベラルアーツ学部研究紀要. 2014, no. 8, p. 35-42.
<http://hdl.handle.net/11078/181>, (accessed 2021-05-26).
- 2) 川村一代. 伊勢図書館での学生の英語の絵本の読み聞かせ活動. 皇學館大学紀要. 2018, no. 56, p. 126-115. <http://id.nii.ac.jp/1543/00000082/>, (accessed 2021-05-26).
- 3) “今後の英語教育の改善・充実方策について：報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～”. 文部科学省.
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/102/houkoku/attach/1352464.htm, (accessed 2021-05-26).

2)はページが p.126-115 となっている。当該誌には縦書き（右開き）と左開き（横書き）の論文が同時に掲載されており、右開きで製本されていると考えられる。